

政策合意等における4年間の目標数値一覧表

	指標名	22年度の 現状	26年度末 までの目標	(参考)「福井新々元気宣言」 対応項目
	【元気な産業】 41項目			
1	[100年企業]			
	ふるさと企業育成ファンドによる支援企業数	—	4年間で50社	○「ふるさと産業」の元気再生
2	繊維製品の自販率の割合	62%	65%	
3	眼鏡枠の生産全体に占める自社ブランド等の生産比率 (金額ベース)	30%	35%	
4	商店街フェアの開催数(来客者数)	6か所 (122千人)	14か所 (150千人)	○商店街を「ライフスタイル センター」に
5	新たに経営改善に取り組む企業数	—	600社	○町の小企業に着目した支援 強化
6	[新成長産業]			
	製造品出荷額等	1兆6,734億円 (平成21年)	1兆8,800億円 (平成25年)	○「福井経済新戦略」を官民 あげて連携推進
7	開発を進めるニューパラダイム製品	—	4品目	○業種・業界をこえた「企業 連合」による新産業づくり
8	企業立地数(暦年)	4年間で89社 (H22:21社)	4年間で100社	○攻めの企業誘致
9	テクノポート福井における新規立地・設備投資企業数	4年間で41社 (H22:7社)	4年間で40社	
10	[福井本拠]			
	機構の支援により新たにアジア輸出を行う企業数	—	4年間で60社	○アジアビジネスの拡大
11	県内学生の長期海外留学者数	—	100人	○県立大学を中心にグローバル 経営戦略
12	[若者雇用]			
	県内高校卒業者の県内就職割合	89.1%	90%	○若者雇用を最優先にジョブ サポート
13	県内大学等卒業者の県内就職割合	58.9%	60%	
14	ものづくり人材育成修学資金の貸与者のうち県内就職人数	—	4年間で54人	○若者のUターン促進
15	[農業から食料産業]			
	水稲エコファーマー認定面積	11,062ha	25,000ha	○消費者に選ばれる福井米づ くり
16	集落営農組織等への農地集積率 (集落営農組織等の水田面積/全水田面積)	60.1%	70%	
17	園芸産出額	120億円	150億円	○「園芸新戦略」によるオー ルシーズンの産地拡大
18	存続危機にある品目の生産者数 (穴馬カブラ、吉川ナスなど計14品目)	85人	170人	○伝統の福井野菜(カブ、ツ ケナ、ナスなど)、ナツメ、 葛くずなどの復活
19	[地域農業]			
	サポートする集落数 (アグリサポーターや農業ボランティアによる農業サ ポート実施集落)	676集落	840集落	○中山間・都市近郊の地域農 業サポートエリアを拡大
20	新規就農者数	4年間で162人 (H22:40人)	4年間で200人	○就農支援の強化で後継者育 成
21	優良農地の確保 (優良農地:農振農用地)	38,150ha	38,400ha	○日本一整備が進んだ農地を 守る
22	農業体験を行う小中学校数(地域活動数を含む)	195校	288校	○子どもから高齢者まで「農 のある生活スタイル」へ
23	有害鳥獣による農作物被害面積	425ha	345ha	○鳥獣害対策の全面展開

	指標名	22年度の 現状	26年度末 までの目標	(参考)「福井新々元気宣言」 対応項目
24	[森] 間伐材の供給量	44,000m ³	60,000m ³	○山への意欲をひき出す「コミュニティ林業」
25	県民運動参加者数	4.4万人/年	5万人/年	○植樹祭をひきつぐ「緑と花の県民運動」を展開
26	[地魚] 水産物の地産地消率 (県内流通量/福井県の漁獲量+養殖量)	61%	65%	○鮮度を高め量販・直販
27	水産物の生産額	92億円	120億円	○「魚は福井」のブランド確保
28	「越前がに(せいこがに)」の資源量	765t	900t	○地魚を安定供給する漁場の保全と新技術の導入
29	[地産地消、地産外商] 県内直売所の売上高 (3,000万円以上の直売所)	26.1億円	30億円	○「地産地消」を日常に
30	地場産学校給食食材使用率 (福井県食材の使用重量/食材の総使用量)	37.2%	40%	
31	飲食業者への売り込みによる契約成立件数(累計)	58件	118件	○「フード・ビジネス基金」で外商活発化
32	海外における県産食品の販売額	639万円	1,100万円	
33	[観光] 観光客入込数	1,063万人	1,200万人 (4年間で200万人増加)	○観光客「プラス200万人」プロジェクト
34	観光情報ポータルサイト「ふくいドットコム」のアクセス数	97万件	120万件	○観光客「プラス200万人」プロジェクト
35	観光消費額	840億円	1,000億円	○観光地をスケールアップするハード・ソフトの複合投資
36	県外からの教育旅行者数	35,700人	70,000人 (4年間で倍増)	○「福井がわかる」ニューツーリズム
37	道の駅整備箇所数	9箇所	13箇所	○観光ルートの新ポイント「道の駅」の設置・活用
38	[恐竜王国] 県立恐竜博物館の入館者数	50.8万人	70万人	○「恐竜渓谷(ダイノソーパレー)100万人」構想
39	ブランドビジネスの売上規模	—	4,000万円	○世界水準の研究と着実なビジネス化
40	[ブランド拡大] 新しい日本一ブランドの選定	—	4年間で3品	○「もっと日本一」プロジェクト
41	ふくい南青山291の売上高	1億770万円	2億円	○ふくい南青山291とサテライト店の新商品ラインアップで売上げ倍増
【元気な社会】 35項目				
42	[教育] 難しいことでも失敗を恐れないで挑戦する生徒の割合 (中学3年生を対象とする全国学力テスト結果)	14%	18%以上 (全国1位)	○子どもの教育は福井で
43	[学校] 夢や目標をもっている児童生徒の割合 (小学校6年生・中学3年生を対象とする全国学力テスト結果)	小学校70.7% 中学校44.1%	小学校75% 中学校50%	○ゼロ歳から高校まで「福井型18年教育」
44	授業満足度	—	70%	○県民の期待にこたえる高校教育
45	英語を続けたい生徒の割合 (高校3年生)	42%	50%	○聞ける話せる「語学音声教育」の導入
46	全国科学オリンピック等の参加者数	100人	140人	○中・高校生のためのスペシャルプログラム
47	[次をめざす教育] 学習指導プランの登録数	小学校348件 中学校210件 高校91件	小学校1,000件 中学校700件 高校500件	○教員の授業力を次のステップへ
48	小規模校において達成感等を持つ児童の割合 (小学校6年生を対象とする全国学力テスト結果)	45.9%	50%	○少子化時代の学校環境の最適化

	指標名	22年度の 現状	26年度末 までの目標	(参考)「福井新々元気宣言」 対応項目
49	[医療] 陽子線がん治療センター利用者数	—	187人 (27年度220人)	○がん予防・登録・治療日本一
50	がん検診受診率	567千人	988千人 (50%超)	
51	福井県版HACCP新規認証施設数	13施設/年	4年間で40施設	○「こころとからだの健康」づくり
52	[アクティブ・シニア] 元気生活率	65~74歳 96.7% 75~84歳 83.4%	65~74歳 97.0% 75~84歳 84.0%	○年をとっても元気に活躍できる福井(エイジング・イン・プレイス)
53	在宅医療の利用者数	3,087人	3,500人	
54	[一役を分担] 見守りネットワークができた自治会の割合	—	50%	○お互いさまの助け合い
55	[頼れる福祉] 特別養護老人ホームに真に入所を必要とする待機者数	待機者ゼロ	待機者ゼロ	○「待機者ゼロ」の再継続
56	B型事業所障害者賃金(月額)	17,928円	20,000円	○自立と生きがいの障がい者支援
57	[若者チャレンジ] チャレンジ活動をする若者の数 (海外留学や地域貢献活動の実践者数)	—	1,000人	○若者応援プロジェクト
58	出会い・交流イベント参加により出会いの機会を得る人数	3,537/年	3,900/年	○「縁結びさかんな先進県」
59	[家族] 放課後子どもクラブへの支援 6年生まで受け入れる小学校区数	183校区 (90.1%)	全小学校区	○遊ばせ上手の子育て家族
60	すみずみ子育てサポート事業利用者数	48,266/年	50,000/年	
61	[働く女性] 女性活躍支援企業 登録企業数	60社	100社	○女性リーダーの出やすい社会
62	[治安実感] 福井県の治安は「良い」と実感できる人の割合	93.8%	95%	○犯罪の徹底防止
63	「子ども重点見守りデー」実施校区数	—	202校区 (全小学校区)	○地域の総ぐるみ「子ども・女性見守り活動」
64	[災害対応] 自主防災組織率 (組織された地域世帯数/全世帯数)	78%	90%	○「つながりの防災力」の強化
65	消雪設備の整備延長	310km	326km	○災害に強いインフラの整備
66	整備効果が現れる河川延長 (近年、浸水被害が発生した区間等)	—	4年間で 4,000m	
67	小・中学校耐震化率	78.4%	90%	○子どもを守る耐震化の促進
68	[生活・自然環境] 一人一日当たりごみ排出量	906g (平成21年度)	864g (平成25年度)	○一歩ずつ始める「ゴミゼロ社会」
69	「おいしいふくい食べきり運動」協力店	601店	920店	○食・農・工のサイクル運動
70	ふゆみずたんぼの面積	50ha	100ha	○コウノトリの舞う村里
71	[温暖化対策] 住宅用太陽光発電設備導入率	2.3%	4%	○環境最先端のまちづくり
72	次世代自動車の県内普及台数	63台	1,500台	○地球温暖化防止の「ゼロカーボン」のライフスタイル

	指標名	22年度の 現状	26年度末 までの目標	(参考)「福井新々元気宣言」 対応項目
73	[景観] 新たな景観づくり活動に取り組む団体数	—	4年間で30団体	○景観保全の重点化
74	住教育実践地区	—	4年間で17地区 (全市町)	○建物・まちなみなど「住まい方」を学ぶ
75	景観アセスメントを実施し、塗り替える橋梁数	—	4年間で6橋	○景観調和の美しい社会資本
76	背面利用や併設などによる道路標識等の減少	8区間	4年間で20区間	○カーナビ時代の道路景観改善
【元気な県土】 12項目				
77	[高速交通] 舞鶴若狭自動車道の整備	(吉川JCT・小浜西間) 開通	全線開通	○舞鶴若狭自動車道の全線開通
78	中部縦貫自動車道の整備	永平寺大野道路 (越坂トンネル・永平寺東間) 3.2km開通 (上志比・勝山間) 7.9km開通 大野油坂道路 (大野東・和泉間) 事業化済	永平寺大野道路 (福井北・松岡間) 開通 (永平寺東・上志比間) 全地区で工事着手 (勝山・大野間) 開通 大野油坂道路 未事業化区間の事業化 (大野東・和泉間) 工事着手	○中部縦貫自動車道の整備促進
79	県内の主要道路の供用路線数	4年間で21路線	4年間で21路線	○主要県内道路・県境道路の整備
80	[海と空の拠点] 敦賀港外貿コンテナ貨物取扱量(暦年)	15,319TEU	35,000TEU	○アジア交流ゲート敦賀港の航路活性化
81	福井港の貨物取扱量(暦年)	157万トン	180万トン	
82	[都市改造] 釣りやカヌーなど足羽川での体験活動への参加者数	236人	2,000人	
83	[電車・バス・自転車] バス利用者数	5,838千人	5,838千人	○新しい地域交通のシステム
84	カー・セーブ参加企業・団体数	181企業・団体	250企業・団体	○「カー・セーブ戦略」のステージ・アップ
85	自転車道のネットワーク化による延長	94km	129km	
86	[新時代エネルギー産業] 原子力・エネルギー関連技術を活用した新製品開発	4年間で15件	4年間で20件	○「産業化」と「人材育成」の重点推進
87	嶺南地域における立地企業数(暦年)	4年間で23社	4年間で20社	
88	海外研修生の受入数	117人	160人	
【元気な県政】 9項目				
89	[スポーツ] 福井国体に関する参加意欲	65.1%	75%	○国体開催に向けた準備を着実に推進
90	国体総合成績	34位	10位台	○世界をめざすアスリート養成
91	[毎日運動] 県民のスポーツ実施率	35%	50%	○子どもから大人まで楽しく体力づくり
92	[文化] 国宝・重要文化財・県指定文化財の新規指定件数	4年間で34件	4年間で34件	○新をつくり 旧を残す
93	一流の芸術・文化を直接体験する子どもの数	65,182人	75,000人	○子どもたちが一級の芸術・文化に触れる機会をさらに拡充
94	[新政策] 地方発の政策提案が全国波及や国の政策として実現した数	—	3件	○地方連携の政策イノベーション
95	ふるさと知事ネットワーク参加県同士の新連携数	—	12件	○大都市を経由しない地方間ネットワークの拡大

	指標名	22年度の 現状	26年度末 までの目標	(参考)「福井新々元気宣言」 対応項目
96	[選ばれるふるさと] 福井で新たな生活を営む「新ふくい人」 (Uターンセンター等を通じて福井へ移住する者)	4年間で823人	4年間で 1,300人	○「ふるさと帰住」政策のスケールアップ
97	[情報] 電子申請サービスの利用促進	11,977件	14,000件	○ICTを生活の中に
【行財政改革】 3項目				
98	[共働システム] 計画策定のために設置する検討組織において若い世代がメンバー全体に占める割合	—	40%以上	○新市町振興プロジェクト
99	[行財政改革] 行財政改革 ・ 財政調整基金等の年度末残高 ・ 県債の年度末残高	395億円 8,809億円	平成23年度中に目標設定	○「第三次行財政改革実行プラン」の策定
100	[政策推進枠予算] 政策推進枠予算（一般財源）	累計 150億円	累計 150億円	○150億円の「政策推進枠予算」を確保